

なごみ

平成二十八年十一月 題字 周防 和衛

◇グループホーム 秋の遠足

グループホームサブリーダー

須賀 一成

グループホームでは一年に二回ご利用者のご家族、ボランティアと職員とで遠足に出掛けています。今回秋の遠足で京都の「八つ橋庵かけはし」に行ってきましたので、その様子をお伝えしたいと思います。

今回の遠足は、ご利用者十六名、ご家族八名、ボランティア二名、職員十三名の合計三十九名という大人数で行きました。「八つ橋庵かけはし」は、名前の通り京都名物の生八つ橋を手作り体験出来る施設です。現地に到着しはじめに手作り体験をしました。最初の工程で生地をひっぱり

柔らかくする作業では、なかなか生地が柔らかくならず皆さん悪戦苦

闘。なんとか柔らかくなくなった生地を次はすりこぎで伸ばす作業で、ご利用者の皆さまが真剣な顔で必死に伸ばしていました。次の工

程では伸ばした生地を正方形に切り、その真ん中に粒あん、チョコレー ト餡、イチゴの餡をそれぞれ置き三角に折り曲げると八つ橋の完成。全部で三個の生八つ橋を作りました。一つ完成する度に皆さま、



すぐにでも食べたそうな顔をされています。ですが、そこは後のお楽しみにして、まずは昼食を堪能。京都という事で京創作料理のお弁当を食べました。

食事が終わると皆さま、すぐお土産コーナーに行き、試食の八つ橋や梅昆布茶に手が伸びていました。ご利用者の一人は「来れなかった娘にお土産を買うの」と八つ橋を選んで

おられました。

「八つ橋庵かけはし」を出発して、京都の名所である嵐山までド



ライブしました。渡月橋に着くとご利用者のご家族は「すごいね」や「何年ぶりに来たんやろ」と喜ばれていました。今回はドライブだけでしたが、紅葉の時期にまた来たいとの感想も頂きました。施設に戻ったあとは、その日のおやつとしてご自身で作った八つ橋を楽しみました。皆さまかなり美味しかったのか、ものの数分で召し上がられました。ご家族の一人は「家で食べるのを楽しみにしています」と



ご家族皆さままで遠足の感想を話しながら、食されるとのことでした。最近では何かを観て楽しむという事がメインになっていましたが、今回は実際に自らの手で何かを作る体験は新鮮さが非常に楽しめたようです。

今回、遠足をすることで、参加さ

れた皆さまの色々な表情をみさせてもらいました。また皆さまと、お出かけ出来る事を楽しみにし、今回以上の楽しい遠足となるよう、努めていきます（須賀）

■委員会報告

◇事故防止委員会

先月に続いて各ユニットへのラウンドを実施致しました。

先月に発生した事故に対して改善策が実行できているか、またそれが周知されているか等を確認すると、ユニットにより事故の改善策の取り組み方に違いがある事がわかりました。

改善策を考え、実践することは当然必要なことですが、その過程に不十分と感じられるところも散見されました。なぜ、実施が難しいのか各部署に確認を取った所、会議の場での案件も協議する事が多く、なかなか時間を割くことが難しい（数分で事故に対しての話し合いが終了せざるを得ない）との意見が出ました。

これらの意見から、委員会のメンバーで話し合った結果、時間を有効に使うために、会議を迎えるまでの過程をもう一度丁寧に行うことを確認しました。事前にスタッフから話し合いたい内容を確認し、会議までにレジュメを配布する事により、スムーズに会議の進行を行えるようにしていきます。

その他、委員のメンバーで現場をラウンドする時に、こういった視点で確認をしていくかを、分かりやすくするため、評価項目を載せたチェック表を作成しました。これにより事故防止に必要な視点が養われるように励みたいと思います。（河村）

◇給食委員会

給食委員会で実施している思い出メニューですが、十月は「主人がお酒好きで、毎日の様に晩酌をしていた。そのお酒のあてに、唐揚げを作っていた。仕事や子供の話をしながら晩酌をして喧嘩になる事もあったが、今思えばいい思い出」というエ

ピソードをもとに『鶏の唐あげ』を提供いたしました。当日はご本人にもお話を伺い、思い出話に花が咲きました。



また、「見た目も美味しい食事を目指そう」を目標に、ミキサー・ムース食に焦点を当てた彩りメニューを実施しています。これはミキサー・ムース食の彩りが単一になりがちなことから、これらの食形態の見た目が綺麗だった日、イマイチな日の写真を持ち寄り、彩りを考慮した献立を委員会内で検討しているものです。そしてその提供日に合わせて、給食委員がご利用者の皆様や職員に直接感想を伺いに行く取り組みも始めました。「彩りがきれい」というご意見もあります。「茶色が多い」「もっと改善できるはず」等、まだまだ厳しい意見も聞かれるのが現状です。今後もしっかりと続けていく予定です。皆様ご協力をお願いします。（新井）

◇研修委員会

研修委員会では、十月二十一日に初の試みでもあるプチ研修（ミニ勉強会）を開催致しました。このプチ研修は、一コマ三十分（本来の研修は60分が基本）構成しており、実技に特化した研修となります。

昼間に実施しており、日勤帯で勤務している職員も参加しやすい状況にあるというところが特徴の一つに挙げられます。

今回は、排泄介助のプチ研修を行いました。パットの特性やオムツの当て方など基礎基本に立ち返った研修を実施し、職員間で互いにご利用者体験も交えた模擬のオムツ交換を実施し再度見直しを行いました。羞恥心への配慮、不快感の軽減、そしてなにより清潔保持を目指したケアについて学びを深められたのではないかと感じています。今後も様々な介助の場面を想定し、研修実施に反映していきたいと考えています。（池下）



■研修特集

今回感染症に関する研修が施設内と地域住民向けに行われましたのでご報告したいと思えます。

◇感染症対策委員会

感染症衛生対策委員会では、ノロウイルスが発生すると考えられている十一月から二月までの四か月間にわたり、ノロウイルス発生時の対応策について全職員へ周知するよう努めています。十月には職員全員を対象とした感染症研修を行います。その後十一月からはユニットへ研修内容の伝達がしっかりと出来ているかの確認を目的とした、ラウンドチェックを一カ月ずつ四つのユニットにて実施予定です。ラウンドチェックでは、リビングでノロウイルスの疑いのある嘔吐物を模した物の処理を実際に行います。併せて、各ユニットに設置してあるノロウイルス対策セットのチェック、補充も毎月一回行う予定です。突然の発生でも職員

一人ひとりが慌てず正しい処理方法を実践できるように、施設全体で取り組んでいきたいと思えます。（濱野）

◇感染症研修を受講して（広報委員から見た研修）

十月二十一日と二十八日にこの時期から冬にかけて流行するノロウイルスに対する吐物処理やガウンテック、手洗い方法を確認しました。

吐物処理について、処理方法を間違えば蔓延する可能性があるあるという事をまず認識することが大切です。



受講した職員は実際に処理方法の手順を疑似体験して身体で覚えます。体験中には、委員の方からアドバイスメもありません。職員は真剣に聞いていました。また処理をする際マスクや防護服を着ます。順番を覚えて頂き、実際に着る・脱ぐ事もしました。順番通りしないと自分が感染する、または周りに飛散させてしまう可能性

もあり重要なポイントでした。

最後に手洗いです。実際に自分自身の手洗い方法でしっかりと汚れを落とせているか、薬品を使い実験し、汚れが残りやすい場所是指の間と爪の周りということ自身をもって理解することができました。



ノロウイルス等感染症が発生しないようにするのは当たり前ですが、発生した時にしっかりと処理できる事が重要になります。今回の研修を通して、適切な時期に実際に体験しながら学んでいくことが有効であると感じました。(須賀)

**◇地域交流委員会
地域住民向け介護技術講習会
を開催しました**

十月三十日に介護技術講習会を開催しました。今回の講習会では排泄介助と感染予防について講義を行いました。排泄介助ではパットの種類の紹介や適切なパットの選び方、

吸収実験などを行いました。

感染予防ではイソジンとでんぷんのりを使用した手の洗い残しが分かる実験を行いました。綺麗に洗ったつもりでも爪や親指、手首が洗い残しやすくなっています。実験をふまえた基本的な手洗いの方法を体験して頂きました。またこれからの季節流行するノロ

ウイルス感染症時の対応として吐物の処理方法のデモンストレーションを行いました。お忙しい中ご参加



いただきましたまして誠にありがとうございます。三月には認知症予防講習会を予定しております。(楠田)

★小学生のまちたんけん

小さな探検家たちが宝塚ちどりへ「まちたんけん」にやって来たので、その報告をさせていただきます。

十月二十六日に末成小学校の二年生六名が授業の一環として宝塚ちどりの見学に来てくれました。当日は特養とグループホームを見学しても

らいました。小学生のみんなは最初慣れない場所に緊張していた様子でしたが、見学を進めていくうちに笑顔も増え楽しそうに見学していました。最後に行った質問タイムでは「何人のおじいちゃん、おばあちゃんがいるんですか」等の質問にはじまり、椅子やトイレの数、部屋の広さ、「お仕事は大変ですか」「どうしてここ(宝塚ちどり)に住んでるんですか」といった沢山の質問を投げかけてくれました。楽しそうに見学と質問を終えて、帰る時には全員大きな声で「ありがとうございます」と元気に帰っていききました。小さな探検家たちはご利用者にとっても職員にとっても良い刺激を与え、たくさんの発見ができる良い探検になったようでした。(乾)



編集後記

コタツが恋しい季節になりました。風邪に注意して、体調を崩さない様お気を付け下さい。(須賀)